



稲穂

豊崎小学校 校長室通信

令和5年 1月17日

第11号 文責 久保 亨



冬休み中、子どもたちは、事故や非行もなく、元気に楽しく過ごすことができた様子で、ご家庭でのご指導に感謝申し上げます。

さて、年が明け、令和5年(2023年)がスタートしました。思い返してみると、令和4年(2022年)も、様々な節目の年でした。例えば、12月には新幹線八戸駅開業20周年記念行事が行われました。20年前といえば…、日本でサッカーのワールドカップが開催された年でした。昨年は、カタールで中東初のワールドカップが開催されました。

ところで、私たち大人にとっては、時間が過ぎるのはあっという間で、何か特別なことでもない、1年前のことすらよく覚えていません(私は)。しかし、子どもたちは、大人よりもずっと濃密な時間の中を生きており、多くの刺激を受けながら成長しています。子どもたちにとっては、「毎日が特別な日」なのです。学校で学習したことはもちろん、日常生活で起こったよいことも、そうではないことも、よく覚えていますし、周囲の大人が何気なく言った言葉もよく覚えています。それらがすべて血となり肉となり、人格を形成していきます。

ですから、私たち大人の言動は、子どもたちの人間形成に大きな影響を与えているのです。そう考えると、その責任の重さに途方に暮れてしまいがちですが、周囲の大人が立派でないと、子どもは立派な人間になれないのか?という、そうではないと思います。子どもたちには、自らよりよく成長するための様々な力が備わっています。私たち大人は、その力を発揮するための環境を整え、応援してやればよいのです。

子どもたちが安心できる居場所をつくり、様々な体験を通して感じるプラスの感情を共有する。マイナスの感情があれば丁寧に聞き取り、言語化を手伝ってあげる。そうしたことの繰り返いで、子どもたちは自己肯定感を高め、困難を乗り越えながら成長していきます。

子どものよりよい成長を望むのは、親も教師も一緒です。悩みがあれば、いつでもお話しください。子育てに「唯一の正解」はありません。一緒に悩み、よりよい方法を考えましょう。

